

消費者教育授業支援

7月10日(木)、1年生10名が「家庭基礎」科目において、消費生活センターの講師による消費者教育の授業を受けました。「なぜSDGsか～その背景にある気候変動」や、「SDGsと消費の関係を知り、私達消費者市民として出来る事」について、生徒達は地球環境の現状を知り、これから実践していくべきことを学ぶことが出来ました。

下記は、生徒の感想文から一部抜粋したものです。

安い製品の裏には、過酷な労働があることを知った。

エシカル消費に関心を持ち、生活していきたい。

マイクロプラスチックが人体に影響を与えている事が印象的だった。

これからは商品についているマークを見て買い物しようと思いました。

自分が思っていたより地球は壊れていて、これから先のことについて考えさせられました。

SDGsの目標に向かって、1人だけでなく皆で取り組んでいきたいと思った。

地球は温暖化のせいで南極や北極の氷河が溶けて界面が上昇すると聞いてゾッとしました。

フェアトレードされていないチョコレートは、労働者にチョコレート1切分の給料しか出ていないことを知った。

人や社会、環境に配慮した物やサービスを選んで消費していきたいです。

消費者センターという相談場所もあるということを知り、頼れるところは使っていきたいなと思いました。



